

鶴姫伝説

『城井軍記実録』では宇都宮鎮房の娘「鶴姫」とその名が記載されていますが、『城井闘争記』や『陰徳太平記』『川角太閤記』では単に「城井息女」と記載され、『黒田家譜』では「弥三郎並びにその妹」と鎮房の息子「弥三郎朝房」の妹と記されるのみで名前は記載されません。享保年間に古文書を集成・編纂した『中津記』には「鎮房の娘、朝房の妹、名は千代姫」と記され、『中津来由記』には「息女小鶴姫」と記載されます。このように名前すら定かでない「鶴姫」の実像に今回は迫ってみたいと思います。

鶴姫「刑死説」VS「生存説」
 「鶴姫」について、鎮房が謀殺された後、山国川河川敷で処刑されたとする説と一人生き長らえ、静かに先祖の菩提を弔ったとする説とがあります。『黒田家譜』には「城井か父子一族十三人、中津川（山国川）に磔（はりつけ）にぞかけられける（原文のまま掲載）」とあり、この中に鶴姫も含まれていたと考えられます。また、『城井軍記実録』には「鶴姫君を謀事ながらも、長政に嫁せしめんと沙汰なりければ、この思召の上からも、一樣に誅することには叶うまじ、独り孝高（黒田官兵衛）の下知により磔に行わんと・・・」とあり、黒田氏が他の者とは区別して鶴姫を処刑しようとしたことが記されています。この続きを讀むと鶴姫が処刑台の準備をする音を聞き、詠んだ辞世の句「なかなかに聞い（城井）で果てなん唐衣我が為におる磔（はたもの・織機）の音を耳にした官兵衛が憐れに思い、一命を許したといえます。「刑死説」と「生存説」、どちらが真実でしょうか。

たことが記されています。この続きを讀むと鶴姫が処刑台の準備をする音を聞き、詠んだ辞世の句「なかなかに聞い（城井）で果てなん唐衣我が為におる磔（はたもの・織機）の音を耳にした官兵衛が憐れに思い、一命を許したといえます。「刑死説」と「生存説」、どちらが真実でしょうか。

鶴姫には姉か妹がいた！
 また、鶴姫には朝房の他に姉か妹がいました。渡辺家文書『宇都宮家系図（元和八（一六二二年））』には「女子」二名が記されています。どちらか一方が鶴姫だと考えられます。

鶴姫はどんな人？
 大佛次郎著の小説『乞食大将』の中で鶴姫は気が強いが芯のある女性として描かれています。終盤で父親の敵である後藤又兵衛を討ち果たすうとしますが、豪胆なその姿に父親「鎮房」に重なるものを見たのでしよう。黙って見送ってしまします。この描写が又兵衛に父親の姿を重ねて恋慕の情を抱く鶴姫の印象を強くしたのでしよう。鶴姫と又兵衛は恋仲だったとする説も一部の人の間で語られています。高橋直樹著の小説『城井一族の殉節』の中では馬を乗りまわす男勝りな女性として描かれる一方、小姓 松田小吉に恋心を

抱く純真無垢な鶴姫像は読んでいてほのほのとさせられますが、辞世を詠んで刑死する姿は涙を誘います。小説で以上のように描かれる鶴姫像。実際はどうだったのでしょうか。

黒田長政の側室説・人質説。真相は？

『城井軍記実録』『城井闘争記』『川角太閤記』『陰徳太平記』は長政の側室説を採ります。これに対し、『黒田家譜』では「或説に、此時長政 城井か賀（むっ）に成給ふといふ八虚説なり。」と記し、鶴姫が黒田長政に嫁したのは間違つた噂であると強く否定しています。『黒田家譜』がわざわざこのように側室説を否定する背景には当時そのような噂が囁かれていたことの証であると考えられます。火のない場所に煙は立ちません。果たして真相はいかに。

以上のように鶴姫に関して、様々な伝説が生まれるのは、時代を越えて多くの人々が鶴姫をはじめ豊前宇都宮氏を慕い続けた証拠に違いないのではないのでしょうか。

（文化財保護係 馬場克幸）

今回ご紹介した『城井軍記実録』や『宇都宮家系図（元和八年）』などの貴重な史料は、現在好評開催中の船迫窯跡公園企画展『最後の中世武士団 宇都宮氏の歴史展』で展示しています。会期は三月十五日（日）までです。この機会にぜひご来館ください。

●京築地区発掘速報展2014開催

京築地区各市町で近年実施された埋蔵文化財の発掘調査成果を、出土した土器等と写真パネルで紹介いたします。築上町からは「東八田地区遺跡群（曲り遺跡・上ノ門遺跡）」（平成21年度・23年度調査）と「築城城跡（つきじょうあと）」（平成24年度調査）で出土した土器等の貴重な資料が展示されます。

【会 期】 1月17日（土）～2月15日（日）9：00～17：00（ただし入館は16：30まで）

【会 場】 豊前市立埋蔵文化財センター（豊前市大字八屋1776-2）

【料 金】 無料

☆京築地区発掘速報展2014 報告会☆

発掘調査に実際に携わった各市町の文化財担当者がその調査成果について、写真などを交えながら、わかりやすくお話しします。

【期 日】 1月24日（土）13：00～15：00

【会 場】 豊前市立埋蔵文化財センター 2階 講座室

問い合わせ 豊前市立埋蔵文化財センター 0979（82）5287



▲東八田・曲り遺跡 飯蛸壺の出土状況